

650人がつどい「オスプレイ来るな」

日米共同訓練反対集会 4日 かに池公園



関山演習場で強行されている日米共同訓練はやめてほしいと、4日、反対市民集会が行われました。

集会には、新潟市や長野県などからの参加者を含め、市内外から650人がつどい、「危険な欠陥機オスプレイは来るな」と氣勢をあげました。

集会を企画した「オスプレイ来るな!日米共同訓練反対県民集会」実行委員会で、牧田正樹市議会議員とともに事務局を担当した上野こうえつ議員は、「短期間の取り組みにもかかわらず、これだけの市民が強い関心を持って集まったことは、昨年来の市民と野党の共同の高まりを示している。この力で、アメリカべったり、憲法無視の安倍政権を退陣に追い込みたい」と語りました。

新上越斎場はゼロベースから再検討

頸北斎場は維持管理を継続

3月議会の厚生常任委員会で、斎場のあり方が審議されました。

居多に建設が計画されている新上越斎場が完成する際に柿崎区の頸北斎場を廃止するという方針には、地元の地域協議会などから多くの反対意見が出され、それを受けた市の新しい方針が示されました。

新しい方針は、「新上越斎場はゼロベースから再検討する」「頸北斎場は少なくとも耐用年数までは維持・管理を続け、その後のことはあらためて検討する」というもので、市民の要望に応えるものです。

経塚斎場の助成期限も再検討

一方、中郷区と板倉区の市民が使用している経塚斎場は、上越・妙高両市の共同管理から妙高市に移管され、妙高市民以外は市外料金となります。そこで上越市は、中郷区と板倉区の市民についてはこれまで通り市内料金で使えるように差額を補填するとしています。しかし、「新上越斎場が完成するまで」という条件付きです。

平良木議員は、「頸北斎場は新上越斎場の完成後も維持管理を継続し、使用できるようにするということが、一方で経塚斎場は新上越斎場完成とともに実質的に使えなくするのは、整合性がない。経塚斎場の使用への助成も継続すべきではないか」と指摘しました。

これに対して、市当局は、「頸北斎場の使用との整合性もあり、経塚斎場の使用助成の期限も再検討する」と答えました。

集会アピールを採択した後、市役所まで行進しました。行進では、沿線の市民が隊列に手を振る姿も見られ、「戦争準備はイヤ」という思いを多くの市民が抱いていることが示されました。集会アピールの要旨は、次の通りです。

市民のみなさん、3月6日から17日の12日間にわたって、関山演習場などで日米合計約750人が参加する大掛かりな共同軍事訓練が行われます。この訓練には、新型輸送機MV22オスプレイが、昨年12月の沖縄の事故以来初めて参加します。

「こうした軍事訓練は、戦争法をはじめとする「日本が戦争できる国づくり」の一環として日米軍事同盟の強化と一体に進められており、日本の平和と安全にとって見過ごすことができません。

2月1日には、平和団体など10団体が、防衛省に対して訓練中止を強く求めるとともに、妙高・上越両市に対して訓練中止を求めようという要請しました。これを受けて両市は異例ともいえる3度にわたる申し入れを自衛隊に対して行いましたが、防衛省などは

オスプレイ来るな! 現地抗議集会

3月13日(月)9:00~

関山演習場前

たくさんの人の参加で、「危険なオスプレイの訓練参加反対」の声をあげましょう!

これに全く応えないばかりか、飛行ルートさえ明らかにしません。機体に構造的欠陥を抱えたオスプレイはこれまで墜落事故により42人の死者を出しているほか、沖縄での墜落事故原因すら特定されています。関山演習場の近くには、小中学校、保育園、住宅地や観光地があり、危険なオスプレイが上空を飛ぶことは絶対に許すことができません。よって私たちは、オスプレイが参加するこの日米共同訓練を中止することを集会参加者全員で確認するとともに、平和を求める県民の名において強く求めます。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 537 2017年3月12日

連	橋爪	法一	090-5392-1961	(吉川区代石)
絡	橋本	正幸	080-1980-9855	(三和区鴨井)
先	上野	公悦	090-7260-9407	(頸城区中柳町)
	平良木	哲也	090-1808-6919	(上中田)